

艇跡

2024年10月号

発行：名古屋工業大学ボート部

編集：無関まりの 市川果凜 船橋綾伽 飯田大介
鈴木満帆 出原咲 中山満喜 行武美咲

猛暑の夏も終わりを告げ、秋風の心地よい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年の全日本大学選手権大会では、女子エイトが最終日まで残ることができました。新シーズンでは、より多くのクルーが残れるよう、日々練習に励んで参りますので、今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。



9月7日(土) 全日本選手権大会にて

目次

関西選手権競漕大会	2
中部選手権大会	7
全日本選手権大会	10
観漕会・激励会	15
幹部交代のお知らせ	17
今後の予定	20

関西選手権競漕大会

強い日差しの中、関西選手権競漕大会が行われました。男子舵手付きフォア、男子ダブルスカル、男子シングルスカルは準決勝に進出し、男子シングルスカルは決勝に進出して第 9 位という結果を収めました。一方、女子ダブルスカルと女子シングルスカルは予選敗退となりました。今回の経験を活かし、今後の大会で全力を出し切れるよう練習に励んでいきます。

日程 : 2024年7月6日(土)~7日(日)
 場所 : 大阪府高石市 大阪府立漕艇センター 2000m
 出漕クルー : 男子舵手付きフォア [C:藤原太一③ S:村田依駿③ 3:堀部航太郎③]
 [2:小川智輝③ B:杉浦拓夢③]
 男子ダブルスカル [S:田中裕大③ B:岡田翔太②]
 男子シングルスカル 加藤碩二郎④
 女子ダブルスカル [S:稲垣仁美② B:垣内春乃④]
 女子シングルスカル 鷲尾ひより②

○内の数字は学年を示します。

◆男子舵手付きフォア◆

〈予選1組〉2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	京都大学 A	1:42.55	3:28.27	5:19.19	7:13.63
2	名古屋工業大学	1:46.13	3:36.20	5:32.20	7:32.73
3	神戸大学	1:47.95	3:40.90	5:36.37	7:33.96
4	熊本大学	1:51.86	3:47.74	5:51.31	8:04.78
5	鹿児島大学	1:56.89	3:58.05	6:09.70	8:32.31

〈準決勝2組〉3杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	京都大学 A	1:47.59	3:39.77	5:34.39	7:30.83
2	滋賀大学 A	1:49.68	3:42.28	5:35.69	7:31.73
3	山口大学	1:50.35	3:43.49	5:37.86	7:40.30
4	名古屋工業大学	1:50.73	3:47.13	5:46.62	7:49.40
5	名古屋大学 A	1:52.75	3:50.60	5:51.83	7:52.92
6	滋賀大学 B	1:55.75	3:54.87	5:59.21	8:03.33



◆男子ダブルスカル◆

〈予選1組〉2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	愛媛大学 A	1:47.69	3:39.55	5:39.53	7:36.15
2	名古屋大学	1:53.28	3:49.47	5:55.63	8:00.09
3	龍谷大学	1:58.60	4:00.42	6:10.76	8:15.72
4	名古屋工業大学	2:05.51	4:10.35	6:21.95	8:28.05
5	大阪公立大学	2:02.63	4:14.93	6:33.92	8:49.10

〈敗復2組〉2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	名古屋工業大学	-	4:02.58	6:05.66	8:13.88
2	関西大学	-	4:00.92	6:11.68	8:23.89
3	同志社大学	-	4:12.64	6:19.79	8:31.61
4	京都シャイニングライズ	-	4:14.25	6:21.87	8:31.85
5	滋賀大学 翠嵐	-	4:20.98	6:33.28	8:52.31
DNS	広島大学A	-	-	-	-

〈準決勝2組〉3杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	立命館大学A	1:50.24	3:47.75	5:46.73	7:47.95
2	鳥取大学A	1:53.61	3:54.34	5:57.05	8:05.16
3	立命館大学A	1:50.24	3:47.75	5:46.73	7:47.95
4	山口大学	1:56.52	4:02.99	6:08.50	8:16.13
5	名古屋工業大学	2:04.39	4:11.42	6:15.07	8:19.02
6	近畿大学	2:01.21	4:11.83	6:19.77	8:30.90



女子シングルスカルの様子です。



男子シングルスカルの様子です。



男子ダブルスカルの様子です。

◆男子シングルスカル◆

〈予選5組〉2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	金沢大学(尾崎光)	2:05.79	4:07.25	6:11.84	8:23.68
2	名古屋工業大学(加藤碩二郎)	1:59.95	4:07.77	6:18.40	8:36.56
3	品川リフクトリーズC(竹内信二)	2:08.15	4:17.76	6:28.13	8:42.47
4	広島大学(栗原瞬斗)	2:11.00	4:26.22	6:35.93	8:45.28
5	同志社大学B(高木智弥)	2:09.85	4:21.67	6:33.73	8:47.07

〈準決勝2組〉2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	トヨタ紡織A(Matthew Dunham)	1:58.62	4:04.21	6:13.90	8:26.55
2	金沢大学(尾崎光)	2:02.87	4:08.10	6:18.90	8:29.96
3	名古屋工業大学(加藤碩二郎)	2:03.14	4:10.87	6:22.54	8:30.01
4	鹿屋体育大学(中島凱)	2:09.60	4:22.85	6:38.50	8:53.65
5	立命館大学(平島樹)	2:11.46	4:25.19	6:42.23	9:03.64

〈決勝B組〉

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	規品川リフクトリーズB(増成秀)	1:57.94	3:59.66	6:02.63	8:09.15
2	同志社大学C(開高将成)	2:02.59	4:08.00	6:15.81	8:25.46
3	名古屋工業大学(加藤碩二郎)	2:02.00	4:14.32	6:26.19	8:38.04
4	大阪公立大学A(田之上利輝)	2:07.45	4:21.69	6:32.77	8:39.94
5	鹿屋体育大学(中島凱)	2:10.78	4:25.51	6:41.31	8:57.82
6	品川リフクトリーズA(伏見省吾)	2:10.10	4:30.24	6:51.19	9:13.20

◆女子ダブルスカル◆

〈予選2組〉2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	龍谷大学	2:06.29	4:11.03	6:25.89	8:42.36
2	名古屋大学	2:10.42	4:22.43	6:47.23	9:12.07
3	大阪大学	2:16.34	4:35.02	7:07.13	9:45.96
4	名古屋工業大学	2:23.96	4:46.79	7:25.22	9:59.75
DNS	関西学院大学B	-	-	-	-
DNS	岡山大学	-	-	-	-

〈敗復2組〉1杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	南山大学	2:20.73	4:39.61	7:00.16	9:21.94
2	名古屋工業大学	2:22.46	4:44.35	7:06.60	9:28.98
3	愛媛大学	2:21.91	4:44.07	7:06.32	9:34.49

◆女子シングルスカル◆

〈予選3組〉2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	関西学院大学A(國政美妃)	2:26.77	4:55.15	-	10:07.38
2	龍谷大学C(廣瀬颯香)	2:22.70	4:48.98	-	10:13.74
3	同志社大学C(松本和佳)	2:35.41	5:10.59	-	10:28.95
4	金沢大学(高木香帆)	2:41.36	5:20.38	-	10:57.09
5	名古屋工業大学(鷺尾ひより)	2:52.76	5:46.01	-	11:45.34
DNS	岐阜協立大学B(鈴木愛菜)	-	-	-	-

〈敗復2組〉2杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	関西みらい銀行(北川真由)	2:15.04	4:33.83	6:56.92	9:13.88
2	龍谷大学D(野崎寛乃)	2:27.96	4:51.12	7:17.93	9:40.26
3	関西大学(戸井田黎)	2:33.60	4:57.15	7:24.69	9:54.39
4	名古屋工業大学(鷺尾ひより)	2:40.78	5:19.42	8:02.83	10:40.36

●クルーの言葉●

男子舵手付きフォア C:藤原太一(3年)

予選、準決勝ともに良い漕ぎができ、COX としてもとても達成感のある試合でした。しかし冷静に考えると、なぜ良い漕ぎができたのか、なぜ準決勝に進めなかったのかが分からなかったことが問題だったと思います。今後はレースの細部まで感覚を高めて記憶し、しっかりと振り返ることが必要だと感じています。

男子舵手付きフォア 2:小川智輝(3年)

朝からかなり暑く、体力が削られるレースでした。しかしレース前にフォアのクルー全員で購入した朝日レガッタの帽子のおかげで予選通過という結果が得られることができました。関選が終わった後、フォワードによる艇の減速やフィニッシュのタイミングのずれが課題となったため、艇にマイナス方向の力をかけないように練習していきます。自分としてはこの大会で初めてレースに前向きになれた気がします。来年は2日とも曇りの天気になることを祈るばかりです。応援ありがとうございました。

男子ダブルスカル S:田中裕大(3年)

関西選手権では、準決勝に進むことを目標に臨みました。予選では庄内川とは異なるコンディションに対応できず、特にスタートで差をつけられてしまいました。敗者復活戦までの間は岡田と反省や課題点を確認し、スタートで他のクルーについていき、コンスタントに前に出るレースプランを立てました。そして、敗者復活戦ではそのプラン通りにレースを進めることができ、準決勝に進むことができました。決勝には進めませんでしたが、庄内川や愛知池とは違う場所でのレースを経験し、2日間で2000mのレースを3回いうことで、個人的にもダブルとしても大いに成長できた大会となりました。

男子シングルスカル 加藤碩二郎(4年)

予選は2杯上がりでしたが、スタートから上手く出ることができ無事2位でゴールしました。勝負の準決勝でも同じく2杯上がりでしたが、同じ組に社会人クルーがいたため、実質1杯上がりの状況でした。対戦相手は予選で当たった相手で、勝てなくはない相手でした。スタートでミスがありつつもラストスパートで並ぶ展開となりました。最後まで出し切りましたが、結果はわずか僅差での敗退となりました。B決勝に進むことができましたが、準決勝からわずか2時間後でのレースだったため、体力が持ちませんでした。最終的な結果は全体9位(学生5位)でした。逆風で大変なレースでしたが、インカレに向けての課題を見つけることができたレースでした。応援ありがとうございました。

女子ダブルスカル S:稲垣仁美(2年)

関選ではシングルで出るかダブルで出るか迷いましたが、ダブルで出場することになりました。練習は厳しかったのですが、春乃さんとダブルで大会に出ることは入部した時からの念願だったので、とても楽しかったです。

試合は思うようにはいきませんでした。波にオールを取られて何度も切り込みかけ、スピードを落としてしまいました。また、試合中も頭が回らず、足蹴りも入れることができず、足を引っ張る形になってしまいました。技術、体力、経験がまだまだ足りないと感じましたが、この経験は必ず今後に活かしていこうと思います。応援ありがとうございました。

女子シングルスカル 鷺尾ひより(2年)

私は今回の関選で初めて2000mの大きな大会にシングルで出場しました。レースは波が高く流れも強かったため、練習してきた通りに漕ぐことができず、2000mを漕ぐ中で何度も心が折れました。しかし、1人で2000mを漕ぎ切ったことで、心身ともに大きく成長できたと思います。これまでは目の前の課題を直すことに専念していましたが、このレースを経て、来年の関選やインカレで活躍するために具体的な目標を持って頑張りたいと思いました。



中部選手権

厳しい暑さの中、中部選手権が開催されました。特に新人にとっては、これまでの練習の成果を出す、重要な大会になりました。

日程：2024年8月24日(土)～25日(日)

場所：愛知県愛知郡東郷町 愛知池漕艇場 1000m

出漕クルー：男子エイト

C:藤原太一③ S:赤松大輔① 7:荒井史豊①

6:下野泰知② 5:松井主浩① 4:太田泰睦①

3:宮倉悠吾① 2:加藤大智② B:竹中翼④

女子ダブルスカル

S:垣内春乃④ B:稲垣仁美②

女子シングルスカル A

鈴木葉奈①

女子シングルスカル B

外山日南乃①

○内の数字はそれぞれ学年を示します。

◆男子エイト◆

〈決勝〉

着順	クルー名	1000m
1	中部電力	2:54.24
2	東郷昇龍混成	3:10.67
3	名古屋工業大学	3:43.33



2年加藤です。

◆女子ダブルスカル◆

〈予選 A 組〉2 杯上がり

着順	クルー名	1000m
1	東郷高校	3:55.77
2	美方高校	3:59.85
3	名古屋工業大学	4:03.69
4	金沢大学	4:09.22
5	旭丘高校 C	4:39.35



女子ダブルスカルの様子です。

〈敗復 A 組〉2 杯上がり

着順	クルー名	1000m
1	旭丘高校 A	3:59.18
2	名古屋工業大学	4:00.64
3	岡谷南高校 B	4:12.91
4	愛知東郷ボートクラブ	4:17.77
5	名古屋大学	5:11.45



1年宮倉です。

〈準決勝 C 組〉1 杯上がり

着順	クルー名	1000m
1	東郷高校	4:02.64
2	美方高校	4:06.92
3	旭丘高校 A	4:07.04
4	名古屋工業大学	4:10.63

◆女子シングルスカル◆

〈予選 B 組〉2 杯上がり

着順	クルー名	1000m
1	福井選抜 B	4:18.71
2	旭丘高校	4:52.48
3	若狭東高校	4:59.38
4	七尾高校 A	5:09.25
5	名古屋工業大学 A(鈴木)	5:27.19

〈予選 C 組〉2 杯上がり

着順	クルー名	1000m
1	勘八峡・昇龍ローイングクラブ	4:36.66
2	愛知東郷ボートクラブ A	4:48.51
3	若狭東高校 A	4:52.51
4	七尾高校 B	4:53.65
5	名古屋工業大学 B(外山)	5:45.98

〈敗復 A 組〉1 杯上がり

着順	クルー名	1000m
1	七尾高校 B	4:49.95
2	若狭東高校 B	4:53.39
3	南山大学 A	6:01.96
4	名古屋工業大学 B(外山)	6:16.62

〈敗復 C 組〉1 杯上がり

着順	クルー名	1000m
1	若狭東高校 A	4:45.63
2	七尾高校 A	5:10.31
3	名古屋工業大学 A(鈴木)	5:19.93



2年稲垣です。



4年垣内です。



1年荒井です。



男子エイトの様子です。

●クルーの言葉●

男子エイト 7:荒井史豊(1年)

今回の中部選手権は、新人期最後の大会でした。初めてスタートからラストまでのレースプランを本格的に意識して臨んだ試合でもありました。1年生の新人チームでレースを作り上げた一体感はとても良かったです。しかし、東郷ボートクラブや中部電力と並んだ際に、大差をつけられて、非常に悔しい結果となりました。この悔しさを糧にし、今回の反省を今後の名大新人戦などに活かしていきます。

男子エイト 4:太田泰睦(1年)

新人エイトでの出漕は今回が初めてで、私にとってレース自体も初めてだったため、緊張や焦りを感じました。結果は3艇中第3位でしたが、強い相手との実力の差を肌で感じられたことは、今後の大きな糧になったと思います。緊張の中でも練習の成果を出せたと感じています。ここから一步一步、上達を目指して練習に励んでいきたいです。

男子エイト 3:宮倉悠吾(1年)

初めてのエイトでのレースでした。このレースは、8月までの練習の成果を試す場となりました。8人の仲間と一緒にのおかげで、普段より緊張は少なかったように感じます。スタートでバランスを崩してしまったものの、個人的には練習通りの漕ぎができたと思います。ただ、練習中に上手くいかなかった点は本番でも課題として残ってしまったため、今後の練習で改善していきたいです。

男子エイト 2:加藤大智(2年)

新人期からずっと練習してきたエイトで、練習の成果が出せた部分もあれば課題点もたくさん見つかりました。これからは名大新人に向けて一層頑張っていきます。

女子ダブルスカル B:稲垣仁美(2年)

例年は出場していない中部選手権に、今回は機会をいただき出場させていただきました。インカレで小艇での出場を逃し、意気消沈していた私にとって、春乃さんとダブルに乗れる貴重な機会となり、とても楽しく練習に取り組むことが出来ました。決勝に残ることは出来ませんでしたが、敗復のレースは今までやってきた中で1番気持ちが入った、良いレースだったと思います。ダブルの楽しさを教えてくれ、たくさん支えてくれた春乃さんには感謝の気持ちでいっぱいです。応援ありがとうございました。

女子シングルスカル A 鈴木葉奈(1年)

今回の大会で初めてシングルで出場しました。シングルに乗っていると広い水上でぼつんと孤独を感じ、不安なことが沢山ありました。それでも1000m無事に漕ぎ切ることができて嬉しかったです。ただ、艇を真っ直ぐに保つことに気を取られすぎてしまいレースをあまり楽しめなかったため、気持ちよく漕げるように今回の大会で見つかった課題に向き合い練習に取り組んでいきたいです。

女子シングルスカル B 外山日南乃(1年)

初めての大会はとにかく怖く、蹴り出しから不安な気持ちでいっぱいでしたが、先輩方の応援やアドバイスのおかげで、なんとか最後まで漕ぎ切ることができました。レース中は、真っ直ぐ漕ぐことばに気を取られてしまい、漕ぎに集中できなかったことが心残りです。次回は、自分の漕ぎに自信を持ってレースに臨みたいです。

全日本大学選手権大会

台風の接近し、まだ夏の日差しが差し込む中、全日本大学選手権大会が行われました。4 大学混成で挑んだ女子エイトが A 決勝に進出し 6 位入賞となりました。1年間の練習の成果を十分に表現できた大会となりました。新シリーズでも成長できるよう部員一同、日々の練習に励んでまいります。

日程 : 2024 年 9 月 4 日(水)~9 月 8 日(日)

場所 : 埼玉県戸田市 戸田ボートコース 2000m

出漕クルー :	男子舵手付きフォア	C:亀島快斗①	S:村田依駿③	3:小川智輝③
		2:堀部航太郎③	B:杉浦拓夢③	
	男子ダブルスカル	S:田中裕大③	B:岡田翔太②	
	男子シングルスカル	加藤碩二郎④		
	女子エイト	C:中村優希④	S:足立真唯 (名古屋大学)	7:垣内春乃④
		6:鷺尾ひより②	5:増田友姫 (北海道大学)	4:野村万里子 (南山大学)
		3:萩原古都 (南山大学)	2:稲垣仁美②	B:中村純怜 (名古屋大学)
	女子シングルスカル	鷺尾ひより②		

○内の数字は学年を示します。

◆男子舵手付きフォア◆

〈予選 4 組〉1 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	明治大学	1:42.82	3:32.18	5:21.85	7:11.83
2	慶応義塾大学	1:41.16	3:34.91	5:30.10	7:24.65
3	金沢大学	1:43.34	3:37.04	5:32.32	7:30.43
4	中央大学理工学部	1:48.76	3:45.25	5:46.47	7:46.12
5	名古屋工業大学	1:50.38	3:51.25	5:52.33	7:49.87

〈敗復 1 組〉3 杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	早稲田大学	1:44.27	3:33.10	5:24.83	7:16.24
2	鳥取大学	1:46.88	3:38.40	5:30.60	7:21.01
3	名古屋大学	1:43.67	3:37.03	5:30.92	7:22.95
4	名古屋工業大学	1:45.96	3:43.52	5:42.05	7:40.04
5	防衛大学校	2:02.35	4:13.16	6:22.74	8:33.92



男子ダブルスカルのレースの様子です。

◆男子ダブルスカル◆

〈予選5組〉1杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	日本体育大学	1:49.55	3:22.86	5:09.39	6:57.74
2	名古屋大学	1:40.25	3:26.94	5:18.94	7:12.61
3	静岡大学	1:44.10	3:32.84	5:28.54	7:29.55
4	東京医科歯科大学	1:43.69	3:36.97	5:46.46	7:40.94
5	名古屋工業大学	1:54.29	3:53.55	5:52.66	7:48.55

〈敗復3組〉3杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	明治大学	1:40.37	3:30.67	5:21.96	7:10.94
2	富山国際大学	1:44.15	3:34.94	5:26.72	7:15.43
3	松江工業高等専門学校	1:44.73	3:36.18	5:28.82	7:21.54
4	名古屋工業大学	1:48.08	3:42.66	5:38.23	7:30.92
5	東北大学	1:51.01	3:50.77	5:47.04	7:42.08

◆男子シングルスカル

〈予選1組〉1杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	日本体育大学(杉森)	1:49.78	3:46.74	5:43.59	7:38.98
2	金沢大学(尾崎)	1:51.24	3:47.21	5:43.77	7:41.46
3	名古屋工業大学(加藤)	1:52.49	3:52.00	5:49.38	7:43.42
4	北里大学医学部(宮本)	1:55.55	3:52.49	5:47.90	7:43.66
5	京都大学(大隈)	1:50.80	3:51.33	5:55.25	8:01.19

〈敗復5組〉3杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	関西学院大学(西村)	1:47.76	3:47.01	5:48.84	7:51.30
2	名古屋工業大学(加藤)	1:49.10	3:49.03	5:52.38	7:53.00
3	東北大学(田村)	1:59.13	4:02.90	6:04.27	8:03.71
4	龍谷大学(松澤)	1:57.65	4:03.57	6:10.80	8:17.52

〈準々決勝3組〉3杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	富山国際大学(若崎)	1:50.30	3:43.71	5:39.41	7:31.25
2	東海大学(西條)	1:48.67	3:43.15	5:39.98	7:32.92
3	金沢大学(尾崎)	1:48.44	3:42.84	5:40.86	7:36.41
4	名古屋工業大学(加藤)	1:50.00	3:44.82	5:43.63	7:37.06
5	山口大学(有松)	1:49.32	3:45.18	5:51.17	7:57.01

◆女子エイト◆

〈予選1組〉1杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	立教大学	1:44.76	3:34.98	5:29.78	7:27.41
2	大阪大・神戸大混成	1:50.42	3:43.89	5:40.48	7:40.91
3	北大名大名工南山混成	1:57.56	3:53.66	5:52.66	7:54.01
4	東北大学	1:58.04	3:58.04	6:01.87	8:04.65
5	東京大学	1:59.56	3:59.67	6:06.94	8:16.90

〈敗復2組〉3杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	仙台大学	1:44.05	3:31.91	5:21.91	7:10.86
2	北大名大名工南山混成	1:55.49	3:51.71	5:49.22	7:42.52
3	東北大学	1:57.86	3:57.41	5:59.70	7:55.68

〈決勝A組〉

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	仙台大学	1:48.97	3:37.86	5:28.82	7:17.91
2	同志社大学・滋賀大学	1:49.26	3:39.94	5:31.81	7:22.94
3	立教大学	1:50.79	3:42.17	5:35.61	7:29.13
4	日本体育大学	1:52.40	3:46.59	5:46.58	7:43.99
5	大阪大・神戸大混成	1:55.07	3:54.04	5:55.35	7:56.12
6	北大名大名工南山混成	2:04.27	4:10.21	6:19.86	8:23.41

◆女子シングルスカル◆

〈予選4組〉1杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	鳥取大学(川吾)	2:05.71	4:18.00	6:34.02	8:43.86
2	成蹊大学(國廣)	2:04.77	4:16.34	6:32.66	8:52.52
3	龍谷大学(久保)	2:07.88	4:21.78	6:40.55	9:05.85
4	名古屋工業大学(鷺尾)	2:15.02	4:36.88	7:01.42	9:25.11

〈敗復4組〉3杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	早稲田大学(小野寺)	2:02.25	4:12.28	6:24.02	8:35.50
2	成蹊大学(國廣)	2:05.39	4:18.90	6:37.66	8:49.95
3	大阪体育大学(松田)	2:11.41	4:29.93	6:53.21	9:15.29
4	名古屋工業大学(鷺尾)	2:17.45	4:37.90	7:03.86	9:28.53



女子エイトのレースの様子です。

●クルーの言葉●

男子舵手付きフォア C:亀島快斗(1年)

私は関西選手権の後からこの艇のCOXになりました。自分の役割は関選で良い結果を出したこのクルーを戸田仕様に仕上げることでした。しかし、結果として敗者復活戦で敗退し、特に関選で勝った名古屋大学に対し漕手が変わっていない中で敗北は、自分の力不足と言わざるを得ません。

ストロークからバウまで4人の3年生の先輩方、関選までのCOXである太一先輩、送り出してくださった他の先輩方、マネージャーさん、そしてなにより応援してくださったOB・OGの皆さんに、申し訳なく思っています。幸いまだ1年生なので、このインカレを絶対に忘れず、大きく成長していきたいと思います。

日頃のコーチング、感じたことの言語化、メニュー管理、漕手のモチベーションとピーク管理について、これら1つ1つにもっと意識を高く持って取り組んでいこうと思います。

最後に、高校の同期や国体で同じチームだった仲間の多くが表彰台に立っているのを見て、嬉しさよりも悔しさの方が大きかったです。自分も必ずその舞台に立てるように頑張ります。

男子舵手付きフォア B:杉浦拓夢(3年)

去年に引き続き、今回のインカレでも男子舵手付きフォアのバウで出漕しました。去年のインカレでは、周りの大学に全く歯が立たず非常に悔しい思いをしました。そのため、今回のインカレまでの練習では1回1回を大切に1年間一生懸命にやってきました。インカレ1ヶ月前の関選では準決勝まで進み、もう少しで決勝というところまで行けたので、自信を持ってインカレに臨むことができました。

しかし、インカレでは関選のようにはうまくいかず、去年より順位は上がったものの、予選敗退という形で終わってしまいました。自信を持って臨んだ大会ただだけに、予選突破という目標を達成できず、去年よりも悔しく、サポートしてくれた皆さんに申し訳ない気持ちでいっぱいです。

また、関選では勝った名古屋大学のクルーに、インカレでは負けてしまいました。名大さんはC決勝に進んでおり、自分たちも同じ舞台に立てていたのではないかとすると、より一層悔しさが残ります。

今回のインカレでは去年に再び悔しい思いをしました。半年後の名大戦では笑って終われるように残りの練習を頑張っていきたいと思います。

男子ダブルスカル B:岡田翔太(2年)

今回のインカレは、自分の弱さを証明させられた試合でした。昨年フォアで悔しい思いをした後、裕大先輩と1年間ずっとダブルを組み、さまざまな人に支えられて、今年最終日に漕ぎたいと練習してきました。しかし、結果は予選敗退となり本当に応援してくださった皆さんに申し訳ない気持ちでいっぱいです。この悔しさを忘れず、次の1年間も、もう一度努力しようと思います。

男子シングルスカル 加藤碩二郎(4年)

最後のインカレということもあり、結果を残したかったのですが、準々決勝での敗退となってしまいました。結果には満足できませんが、漕ぎ自体は自分の実力を発揮できたと思います。歓漕会でOB・OGの方々にアドバイスを受け、漕ぎは関西選手権の時よりもかなり良くなりました。それでも1位との9秒の差、入賞との5秒の差は他の人から見ると「少し頑張ればいけそう」と思われるかもしれませんが、自分にとっては、5秒の壁が大きく感じられます。

最後まで力を出し切って終われたことは、とてもよかったです。OB・OGの皆様にはさまざまな場面で応援していただき、とても嬉しかったです。応援ありがとうございました。



女子エイト 7:垣内春乃(4年)

女子エイトはスweep未経験が多かったため、1ヵ月の練習を経て戸田で戦えるという不安と、大艇が漕げるといワクワク感をいただきながら始まりました。今まで小艇しか乗ってこなかった私にとって、エイトにはまた違う難しさがありました。各自が頑張っても進まない中、同じ意識を持って全員で漕ぐと艇が伸びることがわかりました。また、練習では補漕の方がいつも2、3人乗ってくれていたのが女子8人になったときにどれだけ進むのかずっと心配していました。

戸田入り後、急遽整調が変わり、自分は2番から7番に変更されるなど大きな変化に焦りましたが、本番ではこの変更が功を奏し、よく揃った漕ぎができました。レース中は後ろからの声に何度も助けられました。みんなありがとう。

庄内川の女子はインカレに出られないことに悩んでいたのが、エイトでインカレに出ることで再びボートに熱中できたと思います。協力してくれた名大、名工の方々から心から感謝しています。また、出たいと言ってくれた北大のゆきちゃんとダブルエントリーの3人、本当にありがとう。そして今まで支えてくださったOB・OGの皆様、ありがとうございました。

女子エイト 2:稲垣仁美(2年)

今回のインカレ出場は、私にとってとても良い経験になりました。他校と合同で出場すること、大艇に乗ること、スweepを漕ぐこと、そして最終日にA決勝で戦うこと、これらすべてが未経験での新たな挑戦でした。辛いこともありましたが、目標であったA決勝に進出し、6位入賞という結果を残せてとても嬉しいです。また、名工大女子にとって新たな道を切り開けたと思います。

先輩方や同期、後輩に温かく見守っていただき、そして助けてもらいながら、最後までやりきることができました。応援ありがとうございました。

女子シングルスカル 鷲尾ひより(2年)

私はインカレにシングルで出場するほどの技術も覚悟も足りず、出場するかどうかとても迷いました。しかし、恵まれた機会を大切にしたいと思い、出場すると決めてからは本当に周りの人に助けてもらいながら、当日まで全力で頑張ることができました。この期間ですごく成長することが出来たと思い、自分の力を出し切るレースができたことに、本当にチャレンジしてよかったと感じています。しかし、インカレの舞台は厳しく、タイムとしてはやはり情けない結果となりました。

今年の経験を大切に、来年はもっと誇らしいタイムを残せるように、目標を持って頑張っていきます。



観漕会・激励会

夏の日差しがまぶしい中、観漕会が行われました。OG・OBの皆様にインカレクルーの漕ぎをご覧いただき、多くのアドバイスや激励の言葉をいただきました。OG・OBの皆様の応援を胸に、部員一同全力で臨んで参ります。

日程 : 2024年8月3日(土)

場所 : 愛知県名古屋市中川区 庄内川艇庫、福林



観漕会の様子です。



男子シングルスカルです。



左から竹下部長、佐野会長です。



左からR5年卒の高木さん、安田さん、の山内さんです。



激励会の様子です。



H31年卒の林さんです。



新入部員の紹介です。



左から H31 年卒の永島さん
R5 年卒の山内さんです。



左から R5 年卒の高木さん、R5 年卒安田さん、
4 年の柘植、R5 年卒の山内さん、H31 年卒の
林さん、永島さんです。



インカレクルーの紹介です。

●●応援にきてくださった方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
	会長	佐野武雄		部長	竹下隆晴	H16	D	山口貴弘
H31	ME	永島健太郎	H31	DW	林和史	R2	LC	足立知里
R2	LC	竹内美月	R4	LC	式町健斗	R4	EM	篠田裕也

●●白艇会費をくださった方(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
H31	DW	林和史	R4	EM	篠田裕也

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

幹部交代のお知らせ

今シーズンの新たな幹部が決定いたしましたので、お知らせいたします。
この幹部で部を運営して参りますので、今後ともよろしく願いいたします。

主将	田中裕大(3年)	情報工学科
主務	無関まりの(3年)	生命・応用化学科
会計	行武美咲(1年)	社会工学科
副将	岡田翔太(2年)	生命・応用化学科
副務	船橋綾伽(2年)	創造工学教育課程-材料・エネルギーコース

はじめに、昨シーズン幹部を務めました5名の言葉です。

○●前期幹部の言葉●○

前期主将:加藤碩二郎(4年)

この1年間主将を務めさせていただきました。この期間は部の運営の大変さを痛感するとともに、大学の部活動は漕手やマネージャー、OB・OGの皆様の支えによって成り立っていることを日々実感しました。支えてくださった方に結果で恩返しをしたかったのですが、この1年を通して良い結果を残せなかったことが非常に悔しいです。来年は、今年インカレを経験した2,3年生が目標に向かって全力で戦い、それぞれの目標を達成してくれることを期待しています。

最後になりますが、OB・OGの皆様には今後ともご支援、ご声援のほどよろしく願いいたします。1年間、本当にありがとうございました。

前期主務:上野優奈(4年)

前年に引き続き、主務を務めさせていただきました。この2年間、部を運営することに大きく関わり、多くの貴重な経験をさせていただきました。今年は前年の経験を活かし、スムーズに仕事を進められた部分もありましたが、まだまだ至らぬ点もあったと思います。

後輩に引き継ぎを行い、同期や先輩方にも頼りながらボート部での生活を送る中で、改めてOB・OGの皆様をはじめとした多くの方々に支えられていることを実感しました。支えてくださった皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

次の代からは私が直接運営に携わることはありませんが、困ったことがあれば部員全員で協力し、上級生の力を借りて、インカレでの勝利へと向かって行って欲しいと思っています。

最後になりますが、OB・OGの皆様には、今後ともボート部へのご支援、ご声援をいただけますよう、よろしく願い申し上げます。

前期会計:山田航暉(4年)

前年に引き続き、会計を務めさせていただきました。2年前には長く感じた会計という役職も気が付けばあっという間に過ぎてしまいました。運営において私自身至らない点もありましたが、同期を中心にOB・OGの方々を含め部全体で協力して乗り越えてきたと感じています。これまでの部の運営をサポートして下さったOB・OGの皆様へ心から感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

前期副将:田中裕大(3年)

1年間、副将を務めさせていただきました。やることがあまり多くなかったため、全体を見ながら部をより良くするためにどうすればいいのかを考えて行動することを意識しました。その中で、チームの力を最大限生かすためには、全員が同じ目標を共有することが大切だと実感しました。この1年間で得た経験を、来年度の主将に活かして行きたいです。

前期副務:無関まりの(3年)

1年間副務を務めて、部活動は現役部員、OB、OGの皆様全員の協力によって成り立っていることを実感しました。学生が主体となって運営を行う中で、今までに経験したことのない大きな責任も感じました。ここまでボート部を守り、繋いでくださった先輩方には、尊敬の気持ちでいっぱいです。昨シーズンは、自分に与えられた仕事をこなすことで精一杯でしたが、これからはより広い視野を持って、ボート部全体を支えるために何をすべきか常に考えていきたいと思っています。ここで得た貴重な経験を、今シーズンの主務の仕事に活かしてまいります。昨シーズンもボート部の活動に多大なご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

続いて、今シーズン幹部を務めます 5 名の言葉です。

○●新幹部の言葉●○

主将:田中裕大(3年)

私の今期主将としての目標は、強い部活を作ることです。具体的には、インカレで最終日に残れるようなチームにしたいと考えています。私たちが戸田で練習するチームは強敵揃いで、高い壁があります。しかし、同じ庄内川水域で練習する名古屋大学のクルーがインカレ入賞を果たしたように、決して埋められない差ではありません。この目標を達成するためには、週の乗艇回数を増やすことや、艇やオールといった備品の整備、練習の指導方法など解決すべき課題がたくさんあります。これらの課題に部一団となって取り組んでいきたいと思います。

OB・OGの皆様や、新人コーチをしてくださる院生の皆様、今年度もご支援をよろしくお願いいたします。

主務:無関まりの(3年)

先輩方から引き継いでいただいたことと、昨シーズンの副務としての経験と反省を活かし、部の運営が円滑に進むよう努めます。また、マネージャーとして練習の補助や栄養面から部員を全力でサポートします。ボート部がより良いチームとなるためには、部員 1 人 1 人が自覚を持ち、同じ目標に向かって協力することが必要だと考えています。これまで以上に漕手、舵手、マネージャーとのコミュニケーションを取り、OB・OGの皆様により良い報告ができるよう部員一丸となって不断の努力を重ねてまいります。至らぬ点が多いですが、今シーズンも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

会計:行武美咲(1年)

初めて会計の仕事を行うことに責任を感じていますが、しっかりと管理を行い、部員を支えられるように努めていきます。1年間、よろしくお願いいたします。

副将:岡田翔太(2年)

1年生の時はクルーリーダーとして、練習のことだけを考えていましたが、今シーズンは副将として主将のことを支え、部全体を考えられるよう頑張ります。今シーズンもよろしくお願いいたします。

副務:船橋綾伽(2年)

初めての役職で緊張しますが、さまざまな経験を通じて、部全体を支えられるように成長していきたいです。1年間、よろしくお願いいたします。

今後の予定

新シーズンが始まりました。「インカレでの入賞」という目標に向け、新体制で活動していきます。1年生も多数出漕する予定ですので、ぜひ応援にお越しいただき、アドバイスをいただけると幸いです。

●●名古屋大学・名古屋工業大学新人対校競漕大会●●

日程 : 2024年11月24日(日)

場所 : 愛知県名古屋市中川区 庄内川

出漕クルー : 男子エイト、女子ダブルスカル

毎年恒例の対校戦を今年も開催いたします。この試合で、新体制となつてからの練習の成果をご覧いただけます。応援よろしくお願ひいたします。

変更・詳細はメーリングリスト・HPにてお知らせいたします。